



津田小だより

松江市立津田小学校
令和8年3月23日
校長 小林 敏朗

「6年生を送る会」から…

3月5日（木）の2、3校時に「6年生を送る会」を行いました。当初は2月20日（金）に行う予定でしたが、複数の学級閉鎖があり延期をしていました。

「6年生を送る会」の第1部では、なかよし班ごとに各教室に集まり、「今までありがとう」の気持ちを込めたメダルを贈ったり、一人一人がメッセージを発表したりしました。そして、なかよし班のみんなで楽しくゲームをしている班もありました。第1部終了後に6年生教室に行ってみると、6年生はメダルを首からかけて、とてもうれしそうな満面の笑みを浮かべていました。

そして、全校の子どもたちが体育館に集まり、第2部を行いました。この第2部では、各学年が練習してきた出し物（ダンスやメッセージを送るなど）を披露したり、6年生のこれまでの様子を振り返る「思い出のアルバム」（5年生が作成したプレゼン）を見たり、5年生が作成したくす玉を割ったりしました。また、6年生も「うたごえ広場」の合唱曲「Hail Holy Queen」をバージョンアップして披露しました。この第2部を通して体育館全体が温かい空気に包まれていました。それは、1～5年生全員が「今までありがとう」「中学校に行ってもがんばってね」という思いを込めて、一生懸命に歌やかけ声、ダンスをしたり、観ている子どもたちも教職員も大きな拍手をしたりして、みんなが笑顔だったからかなと思います。きっと、6年生の心に染みる「6年生を送る会」になったことと思います。

また、この「6年生を送る会」で忘れてはならないのが5年生のがんばりです！5年生は3学期が始まってから準備に取り組んできました。一人一人がそれぞれの役割で活躍しました。時々、本校のホームページでもお伝えしていましたが、準備やリハーサル、そして本番と、6年生のために、6年生に楽しんでもらおうと心を入れて取り組んでいる姿がとても印象的でした。今の5年生が来年度の学校のリーダーです。「期待大！」です。



今年度の卒業証書授与式…凜とした空気の中で

3月17日（火）に令和7年度卒業証書授与式を行いました。当日は、111名の卒業をお祝いしているようなとても気持ちのよい天候となりました。そして、式場の体育館やこの1年間を過ごした教室など、校舎の中は卒業生の門出を祝福する温かい空気を感じることができました。卒業生の入場の時から一人一人が引き締まった表情で式に臨みました。そして、一人一人がしっかりとした姿勢、態度で卒業式を行い、体育館全体が凜とした空気に包まれました。この空気はきっと卒業生はもちろんのことですが、在校生代表として参加した5年生の態度、姿勢から醸し出されているものと感じました。式では、卒業生担任が一人一人を呼名する場面では「はい」と爽やかな大きな声で返事をしたり、

堂々とした態度・姿勢で卒業証書を受け取ったりしました。また「お別れのことばと歌」では、卒業生も5年生も力強い声で歌ったり呼びかけをしたりしました（体育館全体に響き渡る声でした）。凛とした空気の中、とても素敵な卒業式を行うことができました。卒業式後は各学級において最後の学級活動を行いました。担任の先生の話の聞いたり、一人一人がスピーチをしたり楽しい時間を過ごしました。

最後になりましたが、卒業生の保護者の皆様、お子さまのご卒業おめでとうございます。また、式当日はお忙しい中お出かけいただき、ありがとうございました。卒業式は終わりましたが、我々教職員はこれからも111名の卒業生一人一人の応援団です！自分の夢に向かってしっかりとがんばっていきましょう、これからも応援し続けたいと思います。



3学期、そして1年間大変お世話になりました！

明日は修了式を予定しています。4月に津田っ子と出会ってから、どの子も随分と成長したように感じます。いろいろな学習や学校行事、学校・学級生活における委員会活動や係活動、当番活動、多くの友達とのかかわりなどを通して、たくましくなっているように感じます。子どもたちの様子を見ながらよく考えることは、735人の子どもたちが735通りのスピードや道筋で成長しているということです。子どもたちの成長の仕方は「みんなちがって、みんないい」と思っています。成長していない子は一人もいません。その成長を見逃さず、その都度認めたり誉めたりしていく学校でありたいなと日々思っています。

3学期、今年度の登校日は明日で終わりです。明日の夜でも、春休みになってからでも、お子さんと今学期や1年間を振り返り、成長やがんばりなどを認め、誉めていただくと喜びます。そのようにしていただくことが、来年度、新学年に向けた子どもたちのエネルギーになることと思います。

明後日の水曜日から、春休みになります。この春休み、時間を有意義に使い、安全に過ごしてほしいと思っています。そして、元気に令和8年度を迎えてほしいと思います。

最後になりましたが、この1年間、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。今年度の学校評価では、保護者の方からこのような記述をいただきました。一部紹介します。

- 今年度は先生に誉めてもらうことが多く、学習面が伸びたように思います。
- 子どもの人数が多い学校ですが、個人をきちんと見ていただいている感じがします。
- 学校の雰囲気や先生方の対応が早く、柔軟で、子どもも担任の先生へ気になることを話しやすい雰囲気のように感じます。
- 授業中のみでなく休み時間も子どもたちと一緒に過ごし、その子の強みやがんばりを認めてくださったり、様々な困り感を抱えた子どもたち一人一人の声に耳を傾け、共に解決に向かうよう支援して下さったり、日々感謝の気持ちでいっぱいです。

日々、この記述にあるような学校を創りたいと考えていますが、何かと至らぬ点が多くあり、ご迷惑をおかけしたことと思います。いろいろな時に、いろいろな場面で助けていただきました。保護者の皆様や地域の皆様のご理解、ご支援、ご協力のおかげで終えることができます。本当にありがとうございました。来年度、令和8年度も変わりませず、よろしく願いいたします。

来年度に向けて①

2月中旬から下旬にかけて保護者の皆様にはお伝えしましたが、来年度（令和8年度）に向けて次の3点について変更します。

- ①毎年すべての学年において学級編制（クラス替え）をすること
- ②毎週金曜日を「津田っ子グローイングタイム」とし、5時間授業の日とすること
- ③生活時間について、毎朝登校後は「スタートタイム」とするとともに、週3回「ことば時間」を導入すること

<①学級編制について>

子どもたちは今後、将来にわたって国籍や文化、信条などの異なる人、いろいろな価値観の人と出会い、社会の中で多様な人と関わること、時には折り合いをつけることが必要になってくると思います。子どもたちには小学校段階から、いろいろな人と関わる力や折り合いをつける力、共に最適解を創る力などの素地を育ててほしいと考え、毎年の学級編制（クラス替え）を実施することといたしました。その一方で、新しい環境に慣れにくいお子さんや新しい学級に不安を感じるお子さんもいらっしゃると思います。そのようなお子さんには、新しい環境や学級に少しでも早く慣れ、安心して学校生活ができるよう、お子さんや保護者の方との面談を通して適切な指導や支援を模索し取り組んでいきたいと考えています。

<②「津田っ子グローイングタイム」について>

今年度2学期から、第2、4金曜日を「津田っ子グローイングタイム」を導入し、1カ月におよそ2回5時間授業の日を設けてきました。子どもたちの取り組みを見ていますと、それぞれに工夫した取り組みをしたり、自分自身の変化や成長に気づいたりしているように思います。今後、このような取り組みを更に広げ、積み上げていくことにより、これまで以上に主体的な態度や姿勢、自分自身で学びやくらしを創っていく力を養っていきたいと考えています。そこで、来年度から毎週金曜日を「津田っ子グローイングタイム」とし、5時間授業の日といたします。また、学校ではこの「津田っ子グローイングタイム」が更に充実した取り組みになるよう、友達の取り組みを紹介したり、取り組み方法や内容に不安や悩みのある児童に対して相談に応じたり、これまで以上に一人一人の指導や支援にあたりたいと考えています。

<③生活時間の変更について>

毎週の「津田っ子グローイングタイム」導入による変更と併せて、生活時間を見直し、朝の活動は「スタートタイム」とするとともに、新たに「ことば時間」（週3回・15分ずつ）を導入することといたしました。「スタートタイム」では、読書やプリント学習などを行い、1校時の学習に落ち着いて取り組むことをねらいとします。また「ことば時間」は、学習の基本である「読み・書き」など言葉の指導に力を入れる取り組みです。具体的には、新出漢字の読みや書きを中心に、国語辞典での意味調べ、詩の音読や群読、かるたや百人一首などに取り組む時間です。これらの取り組みを通して、一人一人の基礎学力定着を図っていきたいと考えています。

これら3点の変更、新たな取り組みについて保護者や地域の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

来年度に向けて②…ローテーション道德の取り組み

今年度の2学期から3学期にかけて、学年部を中心に学年全体で学年の子どもたちを育てていこう、支えていこうという取り組みの一つとして「ローテーション道德」に取り組んでいます。これは学年部の教員が自分の担任学級だけではなく、同じ学年の違う学級に行き道德の授業をするという取り組みです。この取り組みは主に次のようなことを目的として取り組んでいます。

○道德の授業を通して、教員の多くの目で子どもたちをしっかりと見つめ、児童理解を深め、指導や支援に生かす。(一人一人の子どもたちのよさや課題など、多くの教員の目で多面的、多角的にとらえ、今後の指導や支援に生かす。)

○子どもたちが教員の誰にでも話しやすくなったり、心配なことや悩みなどを相談しやすくなったりできるよう担任以外の教員とも人間関係を深める。

学年部によっては道德の学習だけでなく、「ローテーション給食」にも取り組んでいるところもあります。今年度は年度途中のスタートであり中学年中心の取り組みとなりましたが、まずはその効果を検証し、来年度以降の教育活動につなげていきたいと考えています。



2月17日 4年生の取り組みの様子
(3組担任が2組で授業をしている様子)